

花と緑

ののいち

椿まつり2018



3月17日(土)、18日(日)、文化会館フォルテや教育センター、野々市中央公園を会場に「花と緑 ののいち 椿まつり2018」が開催されました。今年で28回目となった椿まつり。2日間とも晴天に恵まれた今回の椿まつりでは、文化会館フォルテで行われた恒例の椿展やオリジナルステージ、花と緑の市などに加え、市と災害協定を結ぶ京都府城陽市の物産コーナーが設置されました。また、野々市中央公園では椿館と椿山を巡るガイドツアーの開催や椿いっぶくコーナーの設置が初めて行われました。

会場には見頃を迎えた鮮やかなツバキが咲き誇り、訪れた来場者はその美しさを心から楽しみ、ゆったりとした時間を過ごしました。

また、学びの杜ののいち カレードでは記念植樹が行われ、第66回全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手播きされた苗木が、栗市長や園児の手で憩いのひろばに植えられました。



広報写真アルバム
2次元バーコード



太鼓演奏



オープニングセレモニー



樹齢約50年のツバキ「野々市」



文化会館フォルテ



花の寄せ植え教室

つばき食堂

椿展

花と緑の市
特産物市

のっティも皆さんをお迎え

折り紙つばきコーナー

椿まつり十徳スタンプラリー

椿オリジナルステージ

城陽市物産コーナー

公開文学書演会

アート・オブ・ツバキ

お茶席

野々市中央公園



ののいち椿館ガイドツアー

椿いっぶくコーナー

教育センター



碁・将棋コーナー

学びの杜ののいち カレード



記念植樹

全国椿サミット上五島大会に参加し親交を深めました!!

3月3日(土)、4日(日)の2日間、長崎県の新上五島町で第28回全国椿サミット上五島大会が開催され、市からは栗市長をはじめ関係者44人が参加しました。

昨年の第27回大会は野々市で開かれた全国椿サミット。今回の開催地となった新上五島町は五島列島の北部に位置し、ヤブツバキが約680万本も自生していることから、椿油が特産物となっています。参加者は現地視察を行ったほか、椿油の製造工場見学と種から椿油を搾る体験を行いました。



地元ボランティアの案内による現地視察



サミット協議会であいさつをする栗市長



椿油搾油工場の説明を受ける参加者



サミット上五島大会セレモニー